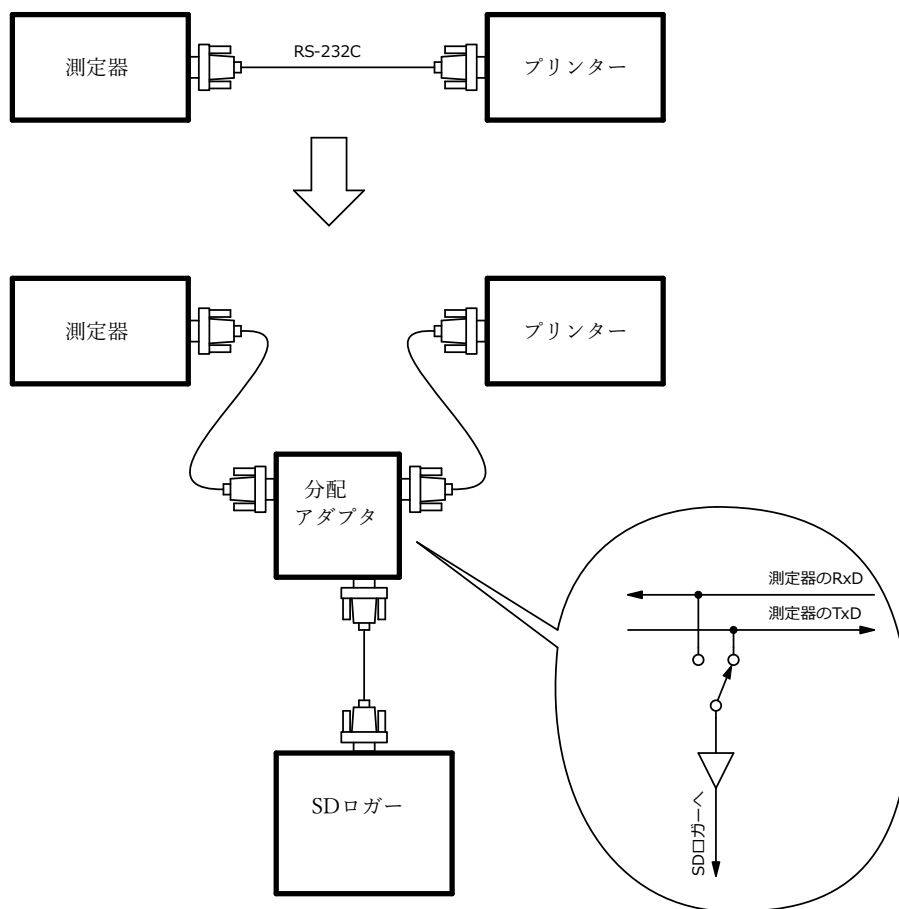


1.概要

RS-232C 分配アダプタは、既存の RS-232C の通信線の中に挟んで信号を分配し、SD ロガーでロギングするためのものです。

下図は使用例です。

図1 既存の通信ラインから SD ロガーに分配する



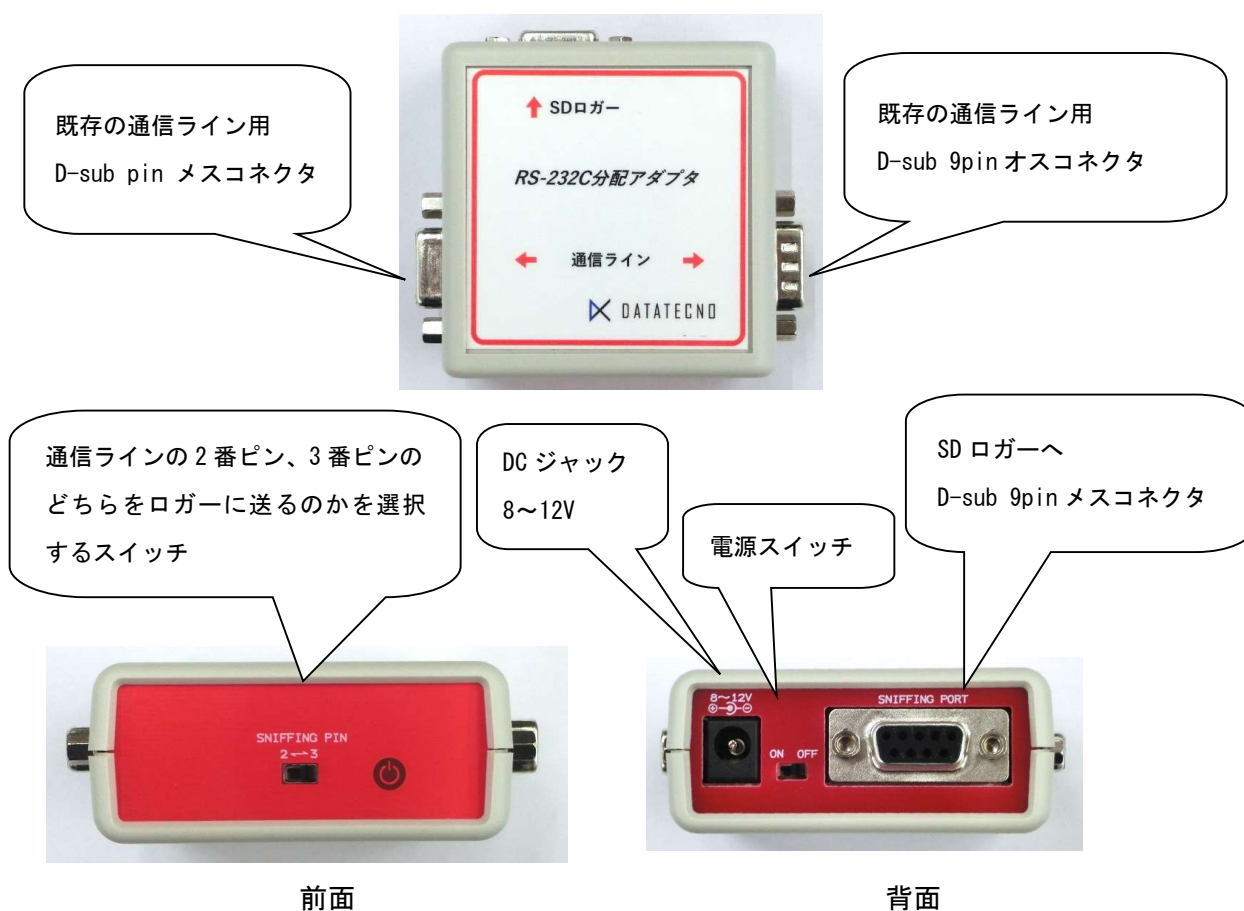
測定器がプリンタに測定結果を印字しているような環境で、印刷しつつ、印字しているデータを SD ロガーにも保存できるようになります。

RS-232C では装置 A と装置 B が通信をしているとき、A→B と B→A の 2 本の線がありますが、本機を使って分配してロギングできるのは、どちらか一方です。

分配に際し、既存の通信に影響がないように、分配アダプタの内部にはバッファ回路が内蔵してあります。

2. 外観と使い方

図 2 外観



(1) 電源

電源は DC 8~12V ピン径φ2.1 センタープラスの AC アダプタが使えます。
AC アダプタの電流容量は 500mA もあれば十分です。

(2) 通信ライン

図 1 のように既存の通信線を接続します。

「通信ライン」の 2 つの D-sub 9Pin のオス、メスコネクタは、9 ピンすべてが 1 対 1 で
内部で接続してあります。

(3) SD ロガーとの接続

SD ロガーとは D-sub 9pin のオスメスのストレートケーブルで接続します。

(4) 全面パネルの 2⇔3 のスイッチで、分配したい通信線を選びます。

電源スイッチを ON にすると使える状態になります。

3. 仕様

電源	8~12V 100mA 以下 DC ジャックはピン径φ2.1 外径φ5.5 センタープラスの DC プラグに対応。
分配できる通信速度	230400bps まで
使用温度範囲	0~60℃
サイズ	67×67×28mm (突起物含まず)
重量	80g